



令和5年度 施政 要旨

はじめに

令和3年1月に、国は県や市町村などと連携して「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を策定し、最上川の河道掘削や堤防の整備など大規模な流域治水事業が進められております。当町においても、町民の皆さんが安心して暮らせることを第一に考え、今後も国や県と連携して進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

昨年の夏の甲子園野球大会では、宮城県仙台育英学園高等学校が見事優勝を果たし、深紅の大優勝旗が「白河の関」を越え、初めて東北の地にやってきました。その中心となった選手が大石田中学校出身の遠藤太胡さんです。全ての試合に出場し、強打俊足の活躍は町民に勇気と感動を与えてくれました。

今春に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを、現在の「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に引き下げる方向で検討されています。情報収集に努め、ポストコロナに向けた対策事業を推進してまいります。

少子高齢化が進む中で、地域課題をどう解決していくか具体的に検討し、創意工夫を凝らして「心豊かに幸せ感じるまちづくり」のために尽力してまいります。

各分野の施策概要

納税対策事業

○スマホ収納等のキャッシュレス決済の拡充を図るなど、納税環境の整備に努め、収納率の向上を図ってまいります。

地域活性化事業

○「NPO法人有償除雪ボランティア運営事業費補助金」の内容を充実させ、今後も移住・定住を見据えた雪対策に取り組んでまいります。

○空き家を活用した移住者向け住宅を整備するなど、新たな移住対策を推進してまいります。

○駅付近の町有地を住宅用地として活用するべく、住宅の形態を含め具体的な整備方針を検討してまいります。

保健・福祉関係事業

○令和4年度からスタートした「出産・子育て応援金事業」をはじめとした各種施策に取り組む、子育て世代を支援してまいります。

○第9期介護保険事業計画を策定し、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進を求めた総合的な高齢者対策を進めてまいります。

建設関係事業

○東北中央自動車道東根〜尾花沢間の更なる利便性向上のため県道のネットワーク強化を要望してまいります。

○国道347号を災害時の代替路、物流拠点への補完路として整備強化を図るよう山形・宮城両県に要望します。

○安全で安心な道路空間確保のため、町道を計画的に整備します。

○行政と住民の総力を結集して道路除雪にあたります。未整備地区の流雪溝整備に向けて関係機関との連携を強化します。

教育文化振興事業

○令和9年4月開校を目指し、統合小学校の設計業務を進めてまいります。

○部活動地域移行検討委員会を組織し、国や県などの動向を注視しながら中学校の部活動の在り方について検討してまいります。

○給食費の半額を助成して、保護者の経済負担の軽減を図ります。

○町民一人1スポーツ・1芸術を継続した柱として、多様で価値の高い学びの機会の充実に努めます。

○地域学校協働本部を中心として、子どもたちが自然体験や様々なスポーツ・文化活動ができるよう取り組んでまいります。

○大石田かるた大会を一層工夫して、町民に親しまれるよう取り組んでまいります。

最上川緊急治水対策事業

○町民の皆さんが安全に暮らせることを第一に考え、引き続き説明会等を開催し、住民の皆さんのご理解・協力をいただきながら、事業の推進に取り組んでまいります。

○短期間で多くの分野を集中的に行う必要があるプロジェクトのため、担当課に職員を増員するなど推進体制を整え、事業に取り組んでまいります。

安全安心のまちづくり事業

○消防機材等を更新整備し消防力の維持と向上に努めます。

○免許自主返納高齢者への支援を継続

○伴奏型相談支援や高齢者の保健・介護予防事業を推進するため保健師を1人増員し、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活と社会参加ができるよう取り組んでまいります。

○コロナ禍等の受診控えなどにより、基金残高が増加しておりますので、国民健康保険税の引き下げを検討してまいります。

農林業振興事業

○ウクライナ問題を受けた資材・肥料が高騰しておりますので、国や県と歩調を合わせて高騰対策に取り組んでまいります。

○5年間で一度も水張りをしない転作田への交付金支払対象除外の見直し問題について、県と連携を図りながら交付金支払いの継続に向けて要望してまいります。

○森林所有者に意向調査を実施し、森林譲与税を財源とした森林整備事業を進めてまいります。

商工業振興事業

○町内商工業者の経営基盤強化の指導等を支援するため、商工会への補助金を増額し、商工会と連携を図りながら町の商工業の活性化を推進します。

○町内における消費喚起を図り、町内

観光物産振興事業

○東北中央自動車道東根〜尾花沢間や国道347号を活用して、東北や関東圏などの広域観光を推進し、交流人口の拡大に努めます。

○「そばの里」振興のため、新そばまつりなど各種イベント開催への支援を通じて観光振興を図ります。

○地域おこし協力隊を活用して、海外からの旅行者に対するおもてなしを充実してまいります。

○4年ぶりに「大石田まつり最上川花火大会」を通常開催し、地域経済の活性化と観光客の誘致を図ります。

生活環境保全事業

○クリーン・アップ大石田を通して、身近な環境の美化とともに公衆衛生規範を醸成し、持続可能な循環型社会の形成に努めます。

○ごみ収集日や分別の周知を徹底し、マナー向上に努めます。